



タブレットPCの多様な活用紹介

【要小学校特別支援学級・算数編】

要小学校の特別支援学級2年生の算数の授業では、タブレットPCのアプリを使って、たし算・ひき算の式の立て方について、学びました。

まず先生は、各児童の端末に、式が書かれたカードを送ります。次に、児童が自分の答えをカードに書き込み、先生へ送り返すと、大きな電子黒板に皆の答えが表示されました。そして、子供たちは、画面に表れた自分の答えをクラス全体に説明しました。「たし算、ひき算ごとに色を変えたら分かりやすかった。」など、解き方や考え方を共有したり、比べたりしていました。

自分の工夫を伝えたり、新たな発見を共有したりと、意見交流をすることで、友達の良さに気付き、自らの考えを深めることができます。簡単に画面に書き込める機能は使いやすく、児童からは「タブレットPCをもっと使って学びたい。」との感想もあり好評です。

また、自宅にタブレットPCを持ち帰り、ドリル学習を進めるとポイントがたまっていく教育ツールで、積極的に勉強する児童も増えました。主体的に自ら学ぶ姿勢を見せています。



自分の答えをクラス全体に発表



ペイント機能で自分の発想を表現

お問い合わせ 庶務課庶務グループ/3981-1141

児童・生徒等表彰対象者を

★決定しました!!★

「豊島区教育委員会児童・生徒等表彰」は、区立小・中学校の児童・生徒の継続的な努力や功績、他の児童・生徒の模範となる行いに対し、その功績を表彰するものです。

今年度は、各小・中学校や関係機関からの推薦に基づく審査の結果、小学校から13名、中学校から8名と1団体が選ばれました。

子どもたちは、新体操やバトントワリング、バレーボールなどのスポーツ分野や、ピアノ、図画ポスターなど文化活動分野の全国規模の大会や、コンクールにて多彩な才能を発揮しています。また、3年間以上の継続的な交通安全活動や、6年間以上の防災活動といった地域貢献の分野でも活躍しています。

受賞者名は、3月21日(日)発行の「広報としま」に掲載されます。

お問い合わせ 指導課 庶務・事業グループ/3981-1145



区内民間企業との協定締結

～ICT活用推進を目指して～

令和2年12月16日(水)、豊島区教育委員会は、スパイダープラス株式会社と「学校ICT環境の活用推進支援に関する協定」を締結しました。

スパイダープラス株式会社は、豊島区池袋に本社を構え、建設業界におけるICTを駆使した業務効率化や、エンジニアリング事業(保湿断熱工事業)を展開する会社です。

豊島区教育委員会は、この協定により、豊島区小・中学校におけるさらなるタブレットPCの活用を推進し、豊かな学習環境を整えます。



◆主な連携・協力内容◆

- ① 区立小・中学校の教職員を対象とした、効率的なオンライン会議の運営と資料作成についての研修実施に関すること。
- ② ICTを活用した、学校間における教材の蓄積および効率的なライブラリーの構築に関すること。

お問い合わせ 庶務課庶務グループ/3981-1141